

第3章 2. そのとき、どうする? ー地震編②ー

地震は、いつ起こるかわかりません。プレート境界で起こる地震では、第2章の「地震災害と津波災害の特徴」で学習したように、地震のあとに津波が発生することがあります。宮城県は海に面している地域が多く、このような地震が起こった場合、自分の命を守るためには、どうすればよいか考えておく必要があります。また、事態が深刻化した場合など「最悪のシナリオ」を想定しておかなければなりません。

以下の想定場面で、自分の周りに起こるであろう危険を予測するとともに、状況に応じた適切な判断や行動ができるように考えてみましょう。

▶ ケース3

想定場面

日時 20XX年8月XX日 (X) 午後8時00分

場所 石巻市 河口付近

人数 あなた、友人4人



あなたは、友人と電車に乗り、地元の友人と会場で待ち合わせて、花火大会を鑑賞しています。花火のよく見える川の比較的近くの場所が取れ、レジャー用の小さいテーブルにお菓子やジュースを置いて、花火を見ながら食べたり飲んだりしていました。

この日を楽しみにしていて、みんなで話し合い、浴衣で来ています。周囲は家族連れやお年寄り、恋人同士、学校も夏休みということもあって大勢の人でいっぱいになっていました。

大きな花火が上がるたびに、歓声が沸きあがります。

花火大会も終盤にさしかかり、クライマックスに上がる花火を楽しみに待っている頃、



① 突然、テーブルの上に置いていたジュースが「カタカタ」と音を立てる小刻みな揺れを感じ、地面から「ゴー」という地鳴りが聞こえました。

② 5秒くらい過ぎた頃、立っていることができないような激しい揺れに襲われ、突然、会場の照明が消えて真っ暗になりました。

③ 激しい揺れは、3分ほど続いておさまりました。

考えてみよう



- 想定場面の①～②では、あなたは命を守るためにどのような行動をとりますか。また、そうするのはどうしてですか。
- 想定場面の③では、あなたはその後の危険を回避するために、どのような行動をとりますか。また、そうするのはどうしてですか。
- さらに、以下のような状況について考えてみましょう。
 - 会場の様子はどのようになっていると考えられますか。
 - 避難している人々の様子を想像してみましょう。
 - 10分後、あなたは何をしていますか。

確かめよう



津波災害に備えて次のことを確認しておきましょう。

- 津波が来る恐れのある場所、津波から逃れる場所を示す標識
海の近くにいる場合は、津波に備え、どこに、どのような標識があるか確認しておきましょう。

津波が来る危険性のある場所



津波注意

津波の危険があるエリアには、津波が来襲する危険のある地域を示す「津波注意」の標識が設置されています。

津波から逃れる場所



津波避難場所

津波に対して安全な避難場所・高台を示し、地震発生時に津波避難場所への避難行動を促すことを目的として設置されています。



津波避難ビル

津波からの避難に際し、近くに高台がない場合、津波に対して安全な避難ビル（原則として鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造）を示し、地震発生時に避難ビルへの避難行動を促すことを目的として設置されています。

- 津波被害が想定されるエリアを示すハザードマップ

ハザードマップでどのエリアに浸水が想定されているかを確認し、その浸水エリアより離れた津波避難場所を確認しておきましょう。

- 複数の津波避難場所までにかかる時間を確認

津波が想定を上回って押し寄せてくることにも備え、それぞれの津波避難場所までかかる時間や津波避難場所の収容人数なども確認しておきましょう。

- 大津波警報、津波警報、津波注意報や避難情報の入手方法を確認

何から情報を入手するかを確認しておくとともに、停電に備えた情報の入手方法も確認しておきましょう。

話し合ってみよう



いつ、どのような地震が起こるかわからないので、その時にいる場所や状況で、まずは、自分の命を守らなければなりません。

今後、皆さんがいろいろな地域に行くことを考えると、その場所で地震が起こったときの「最悪のシナリオ」を想定しておくことが大切です。

「どんなときに」「どんな所で」地震が起こったら、どう自分の命を守ればよいか、自主研修や修学旅行先の状況設定のシナリオを決めて、どうしたらよいか話し合ってみましょう。



(提供：宮城県土木部防災砂防課)



東日本大震災での津波浸水区間を明示し、地震発生時に車両や歩行者の避難行動を促すことを目的として設置されています。また、平常時から浸水範囲を認識することで、避難行動の目安にもなります。